

授業科目区分		科目名		単 位	科目コード	開講時期	履 修 条 件		
修学基礎教育課程 修学基礎科目 修学基礎		修学基礎 Basic Style for Study III		1	0003-01	3期(冬期)	修学規程第5条別表第2を参照		
担当教員名		研究室	内線電話番号	電子メールID			オフィスアワー		
授 業 科 目 の 学 習 教 育 目 標									
キーワード		学習教育目標							
1	KITポートフォリオ	金沢工業大学の学生として求められる、学習や生活に取り組む態度と方法を体験することにより、自己管理能力と日本語表現力の重要性を認識し、自己実現に向かって、積極的かつ実践的な行動に取り組むことができる。 本学が推進するKITポートフォリオシステムを活用し、修学・生活スタイルの改善を実行する基礎的な習慣を身につけることができる。							
2	修学設計								
3	人生設計								
4	日本語表現力								
5	個人面談								
授業の概要および学習上の助言									
<p>1. 自己管理を身につけるために毎週「1週間の行動履歴」を記録し、学期末に「達成度評価ポートフォリオレポート」を作成して、ともにKITポートフォリオ(Web上)に入力し専門基礎教育に備える。</p> <p>2. 進路部長講話から将来の目標を探り、その実現に向かって修学設計と自学自習の自覚を一層強める。</p> <p>3. 1年間の修学および生活を振り返ってグループ討議を行い、グループ発表を行う。</p> <p>4. 担当教員独自の多様な自由講義演習を実施する。</p> <p>5. 1～2期の成績と「行動履歴」「3期の達成度自己評価」「1年次の達成度評価ポートフォリオ」をもとに、1年間の学習・生活スタイルについて個人面談を行う。</p> <p>科目のホームページを必ず見ること。http://edu1.kanazawa-it.ac.jp/shugaku/ レポートは指定されたフォーマットを厳守して作成すること。 出席・提出物の締切を守ることは、特に厳しく評価する。</p>									
教科書および参考書									
教科書：修学基礎2007[金沢工業大学]									
履修に必要な予備知識や技能									
<p>1. 「KIT IDEALS」を理解し実践する意志</p> <p>2. 「学生宣言」を理解し実践する意志</p> <p>3. 金沢工業大学「人間力」を身に付ける意志</p> <p>4. 日本語表現力</p> <p>5. レポートの書式設定</p>									
学生が達成すべき行動目標									
	学科教育目標 (記号表記)								
	A	1週間の行動履歴を作成し、更に今年度の達成度評価と次年度以降の展望を口頭および文章で報告することができる。							
	A	講話の内容を整理し、それに対する自己の見解を文章で作成することができる。							
	A	グループ討議を通して問題点を見出し、自己の見解を口頭および文章で表現することができる。							
	A	グループ活動に協力的な姿勢で臨む、提出物の締切をまもるなど、学ぶための規範を確立できる。							
	A	本科目における「学生の達成すべき行動目標」の達成度を自己評価できる。							
達 成 度 評 価									
評価方法		試 験	クイズ 小テスト	レポ-ト	成果発表 (口頭・実技)	作 品	ポ-トフォリオ	その他	合 計
指標と評価割合									
総合評価割合		0	0	18	17	0	45	20	100
総合力 指標	知識を取り込む力	0	0	0	0	0	0	0	0
	思考・推論・創造する力	0	0	18	5	0	0	0	23
	コラボレーションとリーダーシップ	0	0	0	5	0	0	0	5
	発表・表現・伝達する力	0	0	0	5	0	0	0	5
	学習に取組む姿勢・意欲	0	0	0	2	0	45	20	67

総合力指標で示す数値内訳は、授業運営上のおおよその目安を示したものです。

評価の要点

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点
試験		
クイズ 小テスト		
レポート		課題 「進路部長講話聴講メモ」 5点
	レ	課題 「進路部長講話添削レポート」 10点
		課題 「進路部長講話添削レポート再提出」 3点
	レ	
	レ	
成果発表 (口頭・実技)		課題 「グループ討議メモ」 10点(メモ内容5点、チーム内評価5点)
		口頭発表 7点(チーム発表5点、質問2点)
	レ	
	レ	
作品		
ポートフォリオ	レ	「1週間の行動履歴」2点×10回 教室で授業毎に提出
		課題 「3期の達成度自己評価」 10点
		課題 「1年次の達成度評価ポートフォリオ」 15点
	レ	
	レ	
その他		定刻出席 2点×10回 遅刻1点減点(5分まで)
		多目的ホールでの授業の遅刻者・欠席者は後日ビデオ視聴
	レ	
	レ	

具体的な達成の目安

理想的な達成レベルの目安	標準的な達成レベルの目安
<p>「1週間の行動履歴」を記録し、自省することにより、次週への目標を明確に記すことができる。</p> <p>講話を聴きながら要点を整理し、後に自分の意見と照らし合わせながら講話の内容をまとめることができる。</p> <p>自分の意見を他者の意見と対比させながら明確に述べ、まとめて述べるることができる。</p> <p>授業に欠かさず出席し、提出物の期限を守ることができる。グループ学習に積極的に参加し、学習に必要な規範が身に付いている。</p> <p>本科目における学生の達成すべき行動目標を自己評価し、明確に記すことができる。</p>	<p>「1週間の行動履歴」を記録することができる。</p> <p>講話の内容を箇条書きでまとめることができる。</p> <p>他者の意見を聞いてまとめることができる。</p> <p>授業に出席する、提出物の期限を守る、グループ学習に参加するなどの学習に必要な行動をとろうとしている。</p> <p>本科目における学生の達成すべき行動目標を自己評価し、記すことができる。</p>

授業明細表

回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題 予習・復習 時間(分)	
1回	進路部長講話(加藤聡 教授) 「自分の人生を設計しよう - 自己実現をめざして -」 を聴講し、将来の進路についての意識を深める。 【持参物】 筆記用具、キャンパスノート、カリキュラムガイドブック	多目的ホールにおいて特別講義の聴講メモをとる。 遅刻者の入場は認めず、欠席者とともに後日のビデオ視聴とする。	課題 「進路部長講話聴講メモ」 課題 進路部長講話添削レポート(HP参照) 以下のテーマから一つを選び、800~1,000文字で作成、次回提出すること。 大学生になって成長したと思えること 私はこういう社会人になりたい 生き方として心がけていること 私の将来設計(仕事以外のことでもよい) 心に残った言葉、好きな言葉 「1週間の行動履歴」を作成する。	120 30
2回	担当教員による自由講義・演習 【持参物】 教員の指示するもの	所属教室での講義・演習 【提出物】 課題 「進路部長講話聴講メモ」 課題 進路部長講話添削レポート 前週までの「1週間の行動履歴」	「1週間の行動履歴」を作成する。	30
3回	担当教員による自由講義・演習 【持参物】 教員の指示するもの	所属教室での講義・演習 【提出物】 前週までの「1週間の行動履歴」	「1週間の行動履歴」を作成する。	30
4回	自己開発センター特別講義 (自己開発センター所長:堀岡雅清) 「資格取得のすすめ」を聴講し、キャリアデザインにそった資格取得へ挑戦し、人間力、学力、そして現場での実践的能力を高め、将来の自己実現について考える。 【持参物】 筆記用具	多目的ホールにおいて特別講義の聴講メモをとりアンケートに回答する。 遅刻者の入場は認めず、欠席者とともに後日のビデオ視聴とする。	「1週間の行動履歴」を作成する。	30
5回	1年間の修学・生活についてのグループ討議 グループ内において各自の1年間の修学生活における反省点や展望について、これまでの「行動履歴」「達成度自己評価」「進路部長講話」「自己開発センター特別講義」を踏まえて口頭で報告し、メンバーの意見を集約して次回以降の発表に備える。 【持参物】 ノートパソコン、ランケーブル、キャンパスノート、カリキュラムガイドブック、グループ討議用メモ用紙(HPからダウンロード)	所属教室での演習 【提出物】 前週までの「1週間の行動履歴」	課題 「グループ討議メモ用紙」の作成(発表終了日に提出) 課外活動:グループ発表の準備 「1週間の行動履歴」を作成する。	30 60 30
6回	グループ発表討論 グループ単位で1年間の修学生活における反省点や展望を発表し、討論を行う。 【持参物】 ノートパソコン、ランケーブル	所属教室での演習 ・1グループ12分間(討論を含む) ・OHPシートもしくはパワーポイントを使用 ・評価シートの作成 【提出物】 課題 「グループ討議メモ用紙」 前週までの「1週間の行動履歴」	「1週間の行動履歴」を作成する。	30
7回	グループ発表討論 グループ単位で1年間の修学生活における反省点や展望を発表し、討論を行う。 春学期履修申請について 【持参物】 ノートパソコン、ランケーブル	所属教室での演習 ・1グループ12分間(討論を含む) ・OHPシートもしくはパワーポイントを使用 ・評価シートの作成 【提出物】 課題 「グループ討議メモ用紙」 前週までの「1週間の行動履歴」	課題 「3期の自己達成度評価」を作成し、web上に入力し、印刷して個人面談時に提出する。 課題 「1年次の達成度評価ポートフォリオ」を作成入力し、印刷して個人面談日に提出する。 「1週間の行動履歴」を作成する。	90 120 30
8回	個人面談 課題 「3期の自己達成度評価」課題 「1年次の達成度評価ポートフォリオ」をもとに1年間を振り返り、次年度に備える。 面談日や時間変更が必要な場合は、担当教員に申し出ること。	10~15分間の個人面談 【提出物】 課題 「3期の自己達成度評価」 課題 「1年次の達成度評価ポートフォリオレポート」 前週までの「1週間の行動履歴」	課題 進路部長講話添削レポートの訂正 「1週間の行動履歴」を作成する。 以上の提出は教員の指示にしたがうこと	60 30

授業明細表

回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題 予習・復習	時間(分)
		履歴」		
9回	<p>個人面談 課題 「3期の自己達成度評価」課題 「1年次の達成度評価ポートフォリオレポート」をもとに1年間を振り返り、次年度に備える。 面談日や時間変更が必要な場合は、担当教員に申し出る。</p>	<p>10～15分間の個人面談 【提出物】 課題 「3期の自己達成度評価」 課題 「1年次の達成度評価ポートフォリオ」 前週までの「1週間の行動履歴」</p>	<p>「1週間の行動履歴」を作成する。</p>	30
10回	<p>学習の進捗調整のための予備授業時間</p>	<p>担当教員の指示に従う。</p>	<p>「1週間の行動履歴」を作成する。 授業アンケート回答開始</p>	30
11回	<p>自己点検授業 出席とレポートの提出状況を確認し、各種レポートの返却をうける。 授業全体を振り返り、「学生の行動目標」の達成度を自己評価する。 授業アンケートを作成する。 4期の日程を確認する。 【持参物】 ノートパソコン、ランケーブル(授業アンケート未回答者)</p>	<p>各所属教室での講義 不合格が予想される学生の個別指導を行う。 【提出物】 前週までの「1週間の行動履歴」</p>	<p>「1週間の行動履歴」を作成する。 2年次は「コアガイド」、3年次では「コアゼミ」において、「達成度評価ポートフォリオ」を作成することになる。</p>	30